

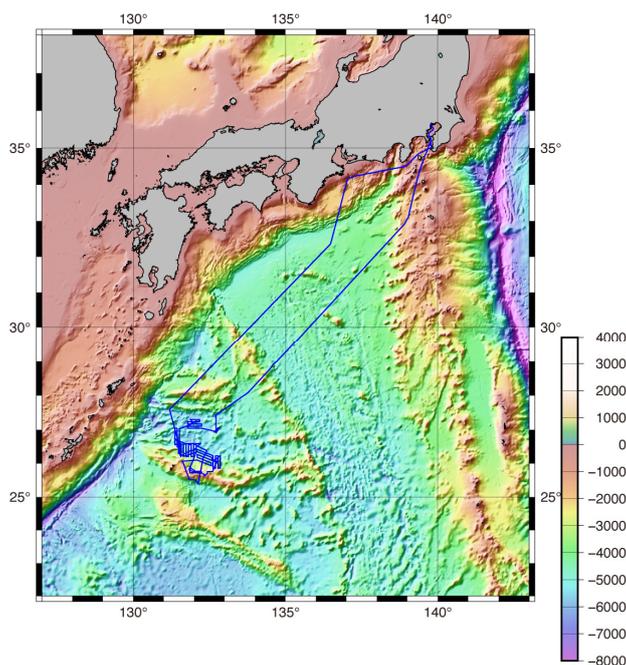
## 白鳳丸研究航海報告

- \* 航海番号 KH-20-6次研究航海
- \* 航海名称 (和文) 花東海盆の形成発達史：フィリピン海プレートの起源全容解明に向けて  
(英文) Tectonic development of the Huatung Basin: Understanding the origin of the Philippine Sea Plate
- \* 観測海域 (和文) 大東海嶺・北大東海盆  
(英文) Daito Ridge and Kita-Daito Basin
- \* 航海期間 令和2年11月19日(木)～令和2年12月2日(水)
- \* 出港日時・場所 11月19日13時晴海ふ頭
- \* 入港日時・場所 12月2日10時海洋研究開発機構岸壁
- \* 寄港期間・場所 なし
- \* 研究課題
  1. 花東海盆の形成発達史：フィリピン海プレートの起源全容解明に向けて
  2. ドレッジ試料の船上物性測定と陸上実験に基づいた Gaugua 海嶺の地殻構造の制約
- \* 主席研究員 (氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)  
谷 健一郎・国立科学博物館・研究主幹・kentani@kahaku. go. jp
- \* 研究内容, 主調査者 (e-mail アドレス), 観測項目
  1. フィリピン海プレートの起源解明に関する研究, 谷 健一郎 (kentani@kahaku. go. jp), 岩石ドレッジ
  2. 大東海嶺・北大東海盆の地殻構造に関する研究, 沖野 郷子 (okino@aori. u- tokyo. ac. jp), 地球物理航走観測 (海底地形・重力・地磁気)
  3. ドレッジ試料の船上物性測定による地殻構造の解明, 長瀬 薫平 (kumpei- nagase@hiroshima- u. ac. jp), 岩石試料の物性計測 (空隙率・弾性波速度・電気比抵抗)

\* 乗船研究者氏名・所属・職名

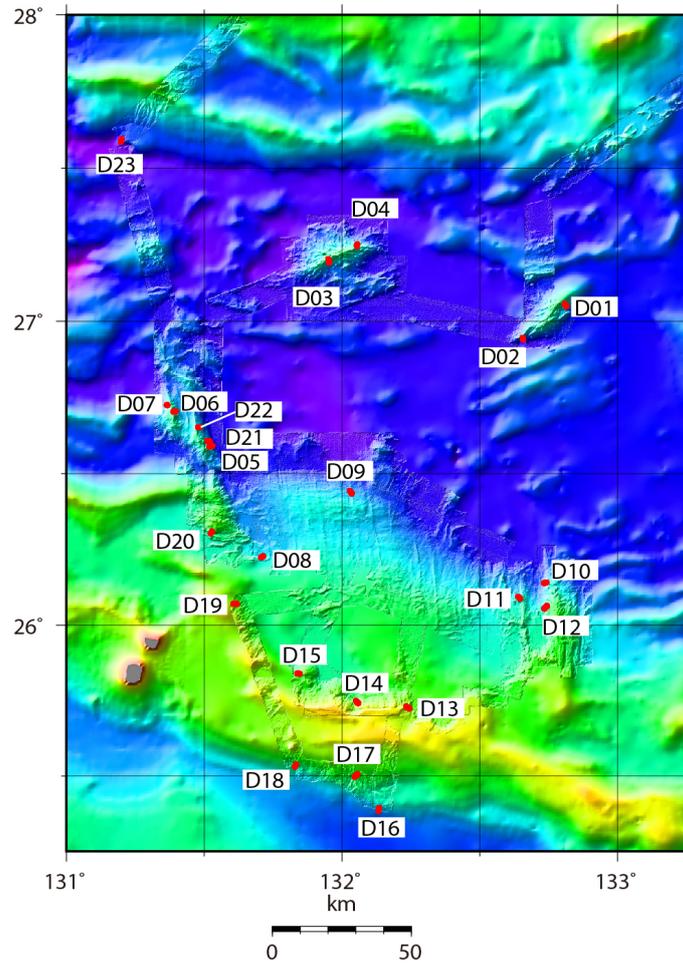
谷 健一郎・国立科学博物館地学研究部・研究主幹  
沖野 郷子・東京大学大気海洋研究所・教授  
石塚 治・産業技術総合研究所/海洋研究開発機構・主任研究員  
針金 由美子・産業技術総合研究所・主任研究員  
楠橋 直・愛媛大学大学院理工学研究科・准教授  
植田 勇人・新潟大学理学部・准教授  
奈良 幸明・新潟大学大学院自然科学研究科・大学院学生  
古川 祐希・新潟大学大学院自然科学研究科・大学院学生  
井上 倫瑠・新潟大学大学院自然科学研究科・大学院学生  
鈴木 望夢・新潟大学大学院自然科学研究科・大学院学生  
當山 凜太郎・新潟大学理学部・学部生  
下岡 和也・愛媛大学大学院理工学研究科・大学院学生  
相田 和之・愛媛大学大学院理工学研究科・大学院学生  
山本 一平・東京大学大気海洋研究所・大学院学生  
内山 涼多・東海大学大学院海洋学研究科・大学院学生  
長瀬 薫平・広島大学大学院先進理工系科学研究科・大学院学生  
田村 千織・東京大学大気海洋研究所・技術専門職員  
竹内 誠・東京大学大気海洋研究所・技術専門職員  
片山 陽平・株式会社マリン・ワーク・ジャパン・観測技術員  
小松 亮介・株式会社MOL マリン ・観測技術員

\* 航跡・測点図



航跡図

KH-20-6 dredge stations



测点图